



## 平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月1日

上場会社名 株式会社ブレインパッド  
コード番号 3655 URL <http://www.brainpad.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
四半期報告書提出予定日 平成24年5月10日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 草野 隆史(戸籍名:高橋 隆史)  
(氏名) 池田 直紀 TEL 03-5791-4210

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第3四半期の業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,347	51.2	178	88.5	156	71.1	88	69.7
23年6月期第3四半期	891	—	94	—	91	—	52	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	29.15	28.25
23年6月期第3四半期	20.46	—

(注)

- 当社は平成23年8月1日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行い、平成24年3月1日付で、普通株式1株につき3株の株式分割を行っており、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
- 当社株式は、平成23年9月22日をもって、東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、24年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
- 23年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,200	—	888	—	—	74.0
23年6月期	818	—	329	—	—	40.2

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 888百万円 23年6月期 329百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
23年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	
24年6月期	—	0.00	—	—	—	
24年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,920	42.5	299	58.7	277	50.0	157	46.9	50.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成24年5月1日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期3Q	3,273,900 株	23年6月期	2,556,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年6月期3Q	— 株	23年6月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	3,045,229 株	23年6月期3Q	2,556,000 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)

当社は、当第3四半期累計期間において、下記の概要にて株式分割を行っております。

・平成23年8月1日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。

・平成24年3月1日付で、普通株式1株につき3株の株式分割を行いました。

※株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算定しております。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による復興需要などに伴い緩やかな回復基調にあります。また円高基調にも一服感が出ておりますが、欧州政府債務危機による世界経済の低迷及び原油価格の上昇等により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済環境下において、当社は、「顧客の限られた予算の中で利益を最大化するマーケティング施策を提案・実行支援する」という比較的景気悪化に強いビジネスモデルであることを活かし、業務の拡大を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,347,341千円（前年同期比51.2%増）、営業利益は178,264千円（前年同期比88.5%増）、経常利益は156,406千円（前年同期比71.1%増）、四半期純利益は88,771千円（前年同期比69.7%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (アナリティクス事業)

当社の主要事業であるデータマイニング業務を提供するアナリティクス事業につきましては、引き続き顧客の削減傾向にある予算の中で利益を最大化するマーケティング施策を提案・実行支援をしてまいりました。昨今のビッグデータ報道や大手ベンダーのデータ分析ビジネスへの参入報道により、顧客企業がデータ分析に耳目を集めるというトレンドを受けて、データ分析の新規需要も拡大しつつあります。その結果、売上高は547,784千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益は234,278千円（前年同期比30.1%増）となりました。

#### (ソリューション事業)

データ分析やそれに基づく一連のマーケティング活動を実施する上で必要なソフトウェアのライセンス提供とシステム構築を行うソリューション事業は、マーケティングオートメーションソフトウェアであるEmailvision社製の「smartFOCUS」の提供を中心として、引き続き営業活動を行ってまいりました。今期は製品導入に付随する開発案件の受注などもあり、その結果、売上高は416,307千円（前年同期比109.5%増）、セグメント利益は70,024千円（前年同期比35.0%増）となりました。

#### (ASP関連事業)

アナリティクス事業等で培われたノウハウから分析技術を利用した独自性の強いツールを開発し、ASPにて提供及び付随する保守業務等を行うASP関連事業は、企業のインターネット活用の高まりに応じて、今後も引き続き、需要は増加すると見込まれます。今期においては、既存の自社開発のASPサービスである「Rtoaster」と「L2Mixer」に加え、Emailvision社製の「Campaign Commander」も新たなラインナップに加え、順調に新規案件を獲得しつつあります。その結果、売上高は383,250千円（前年同期比79.9%増）、セグメント利益は124,036千円（前年同期比224.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は886,058千円となり、前事業年度末に比べ245,910千円増加しました。これは主に東京証券取引所マザーズ市場上場に伴う新株発行等により、現金及び預金が増加したことによるものであります。また、固定資産の残高は314,906千円となり、前事業年度末に比べ136,826千円増加しました。これは主にソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が88,374千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は、前事業年度末に比べ382,735千円増加し1,200,964千円となりました。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は312,815千円となり、前事業年度末に比べ176,088千円減少しました。これは主に返済に伴い短期借入金100,000千円減少したことや、支払いに伴い買掛金が27,638千円減少したこと、及び前事業年度の納税に伴い未払法人税等が46,934千円減少したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は888,149千円となり、前事業年度末に比べ558,824千円増加しました。これは主に上場に伴う公募増資及び第三者割当増資等により、資本金及び資本剰余金が470,052千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年9月22日に公表致しました、「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」における通期の業績予測を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

この適用により、当第3四半期累計期間に行った株式分割は、前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期会計期間末 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	173,119	516,144
受取手形及び売掛金	400,737	290,106
仕掛品	1,753	24,251
繰延税金資産	8,348	3,340
その他	56,189	52,214
流動資産合計	640,148	886,058
固定資産		
有形固定資産	38,893	83,600
無形固定資産		
ソフトウェア	96,807	153,246
その他	9,781	41,534
無形固定資産合計	106,589	194,780
投資その他の資産	32,598	36,525
固定資産合計	178,080	314,906
資産合計	818,229	1,200,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	83,917	56,279
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	26,652	22,520
未払金	22,654	38,705
未払費用	76,020	89,313
前受収益	40,422	28,982
未払法人税等	74,033	27,099
その他	20,946	21,492
流動負債合計	444,647	284,392
固定負債		
長期借入金	39,201	23,344
その他	5,055	5,078
固定負債合計	44,256	28,422
負債合計	488,903	312,815
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,375	325,401
資本剰余金	67,075	302,101
利益剰余金	171,875	260,647
株主資本合計	329,325	888,149
純資産合計	329,325	888,149
負債純資産合計	818,229	1,200,964

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	891,266	1,347,341
売上原価	493,955	748,712
売上総利益	397,310	598,629
販売費及び一般管理費	302,749	420,364
営業利益	94,560	178,264
営業外収益		
受取配当金	259	504
その他	147	66
営業外収益合計	407	571
営業外費用		
支払利息	2,168	1,530
株式交付費	—	6,194
株式公開費用	—	13,523
その他	1,410	1,180
営業外費用合計	3,579	22,428
経常利益	91,388	156,406
特別損失		
固定資産除却損	15	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,329	—
特別損失合計	2,345	—
税引前四半期純利益	89,043	156,406
法人税、住民税及び事業税	40,699	66,424
法人税等調整額	△3,954	1,210
法人税等合計	36,744	67,635
四半期純利益	52,298	88,771

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間（自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	アナリティクス事業	ソリューション事業	ASP関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	479,524	198,719	213,022	891,266	—	891,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	479,524	198,719	213,022	891,266	—	891,266
セグメント利益	180,110	51,883	38,233	270,227	△175,666	94,560

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用175,666千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	アナリティクス事業	ソリューション事業	ASP関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	547,784	416,307	383,250	1,347,341	—	1,347,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	547,784	416,307	383,250	1,347,341	—	1,347,341
セグメント利益	234,278	70,024	124,036	428,338	△250,074	178,264

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用250,074千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。



2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月21日を払込期日とする有償一般募集増資による新株式190,000株（発行価格2,200円、引受価格2,024円、資本組入額1,012円）の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ192,280千円増加しております。

また、平成23年10月18日を払込期日とする第三者割当増資による新株式40,500株（割当価格2,024円、資本組入額1,012円）の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ40,986千円増加しております。

さらに、当第3四半期累計期間における新株予約権の行使による新株式8,800株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,760千円増加しております。

この結果、当第3四半期累計期間末において資本金が325,401千円、資本準備金が302,101千円となっております。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期会計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項はありません。